

# 常総学院同窓会々報

発行 / 常総学院高等学校同窓会 編集 / 同窓会会報編集委員会  
委員長 / 飯田晃久 印刷 / (株)大鵬社



ごあいさつ



常総学院中学校 校長

壁谷 恵

同窓会会員の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、温かいご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度より中学校校長を拝命致しました。学菲才の身であります、学校発展のため懸命に努めて参ります。よろしくお願ひ致します。さて、本校は、開校以来一貫して、社会に貢献するエリート・リーダーの育成を教育目標に掲げて参りました。特にここ数年は、社会の様々な分野で活躍する卒業生が目立つようになります。在校生にとって、大きな励みとなつております。急速にグローバル化が進展する現代社会においては、企業も個人も厳しい競争を強いられ、格差や淘汰がますます顕著となっています。生徒たちには、そうした厳しさに打ち勝ち、社会に貢献し得る確固した学力と強い精神力を身に付けさせたいと考えます。またグローバル社会に対応するための能力育成にも力を

入れています。クラスディスカッションや一分間スピーチなどを通しての論理的思考力やプレゼン能力の育成もその一つです。語学力の向上にも努めており、特に中学では、英会話の授業を毎日入れ、ネイティブ教員による一クラス三分割の少人数制授業を開催しています。

こうした教育活動の結果、今年度も多くの教育活動の成果を残すことができました。詳しくは、本誌をご覧いただきたいと思いますが、大学合格実績にしても部活動実績にしても、卒業生の皆さんに対して堂々とお示しできるものと自負致次第です。

今後とも教職員一丸とがますます顕著となつて、なつて教育活動を推進し、学校のさらなる発展に努め参ります。

同窓会員の皆様には、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 卒業生 活躍する

司法試験合格して

第二十五期生 海老原 弥生

この度は、常総学院同窓会会報誌に寄稿する機会を頂きまして、ありがとうございます。私は、平成二十八年司法試験に合格し、現在は司法修習生として宇都宮地方裁判所にて実務修習を行っております。

そこで、司法修習生について少し紹介したいと思います。

司法修習生は、司法試験に合格した人の中から、最高裁判所が命ずることになります。司法修習は、全国各地の裁判所、検察庁、弁護士会での実務修習と、司法研修所での集合修習に分けられます。実務修習では、裁判所へ民事・刑事、検察官、弁護士に配属され、裁判官、検察官、弁護士による個別の指導の下、実際の事件の処理を体験的に学びます。集合修習起案では、司法研修所教官による講義や実務教育を受けます。

このように司法試験に合格した後も勉強が続きます。また、社会の変化に合わせて法律は改正され、日々新しい裁判例が出されているので、法曹になつてからも勉強が続きます。

私が法曹の道に進むことを決めたのは、高校生のときでした。大学、



法科大学院と六年間、司法試験合格を目指し勉強を続けることができたことも、これから法曹として一生勉強を続けていきたいと思うことができることも、常総学院で過ごした日々と三年間の苦楽を共にした友人達成も少なくありません。そんな状況から本質的な問題を見つけ出すことができ難しく、それ以上におもしろく私の拙文でどこまでお伝えできたか自信がありませんが、多様な人が問題と研究そのものに複雑に関わることがこの領域における難しさであり魅力です。この領域の良さと重要性が分かりやすいものとなり、より社会へと貢献できるような発展を遂げられるようこれからも励んでいきたいと思います。

上野学園大学 音楽学部  
音楽学科 演奏家コース  
第二十八期生 野宮 奈瑠美

教育実習を終えて

母校へ教育実習をしてくれました!

母校での教育実習は長いよう短くあつという間の三週間でした。私は、大学でクラリネットを専門的に学んでおり、本格的な音楽の授業を行なうのは初めてのことでした。初めての授業では、緊張で自分自身が混乱してしまい、生徒に目を向ける余裕がありませんでした。今まで音楽の授業を楽しく受ける側でいましたが、実際に授業をする側になるとこんなにも難しいのか、と痛感しました。その中で、音楽の先生方から様々なアドバイスを頂いたり、授業を参考にし、何度も何度も授業の進め方や内容を生徒の目線になつて見直しました。実習中は主に、合唱曲「あす」という日が」の授業をしました。初回の授業では私の緊張が生徒に伝わってしまい、大きな声を引き出しができませんでした。指導教官から、「もっと落ち着いて、生徒から大きな声を引き出すには自分も生徒と一緒に大きな声で歌うこと」と助言を頂きました。ピアノ伴奏をしながら生徒と共に歌い、自分自身が音楽を楽しみながら授業を行うことで、大きく伸びのある声を引き出されました。また、いろいろ

うなクラスで授業をして、同じ指導案、指導方法ではうまくいかないところをより感じることができました。その中で、教材研究やピアノやリコーダー、歌の練習の大切さを改めて実感しました。そして、思っていたよりも生徒は教師をしっかりと見えていて、ぎこちなく一生懸命やれば、生徒は感じ取ってくれる、協力してくれるということに気が付きました。「先生の授業楽しい!」「先生緊張してますか?大丈夫ですか?頑張りましょう!」という言葉や、授業終わりに教室や廊下で合唱を歌つていってくれたりなど、本当に嬉しくて何度も励まされました。そこから、もっと良い授業がしたい、音楽の楽しさを伝えたい!という向上心が生まれました。この気持ちは絶対に忘れません。まだまだ未熟ですが、先生方、生徒たちに支えられて、落ち着いて研究授業ができたと思います。授業の仕上げとして、先生方に向けて整列をさせ合唱をしました。最後の合唱は、今までの合唱の中で一番素晴らしい歌声と表現力でとても感動しました。授業が終わってから、生徒の優しさと感動で思わず涙が出てしました。教師の魅力、音楽の素晴らしさを改めて発見、再確認できた瞬間でした。

流通経済大学 四年  
第二十九期生 仁平 隼人

私は五月二十一日から六月十七日の四週間常総学院高等学校にて教育実習をさせていただきました。教育実習を終えて、先生方からたくさんのこと学び、知識を得ることができました。私は保健体育を担当し、体育の授業を観察、実施させていただき、授業を行う上で大切なことや、留意点を学ぶことができました。まず大切なことは、生徒に考えさせ、積極的に参加させることです。最初の授業では



## 教育実習を終えて

また、保健の授業は普段の日常生活や自分の将来に関わる大事なことを学ぶので、高校生の立場や生活のレベルに合わせた発問をし、一人一人考えさせ行動にうつせるように教えていくことが大切だと思います。実技の方では生徒の運動量を確保できるよう説明を短くすること、無駄な説明をするが説明の時間が長くなってしまうのは生徒も飽きてしまうので、ポイントをまとめ、的確に伝えることが大切だと思います。できない生徒に指導することはもちろん大切ですが、できている生徒に対して褒めてあげたり評価して生徒のモチベーションを高めることも大切だと教わりました。そういったことで生徒が積極的に取り組むようになり、個々の能力の向上につながると思います。保健、実技において生徒が主体的に考えて取り組めるように展開していくことが大切だと考えます。

この実習を終えて、自分自身も成長することができたと思います。人前で話すということが以前は苦手でしたが、授業を担当する機会が増えたが、授業を教えたりして、生徒が楽しそうに取り組んでいる姿を見ることができ、教師の仕事のやりがいというものを感じることができました。実習で学んだこと、得たことを今後の生活に生かしていきたいと思います。

四週間という短い間でしたが、母校で実習が行えたこと本当に嬉しく思います。校長先生はじめ、指導してくれた先生方本当にありがとうございました。今後も感謝の気持ちを忘れず、何事にも取り組んでいきたいと思います。





# 駅伝特集!! 「櫻を繋いで!!」

「より強く」「より早く」  
成長を願う

顧問 田中 弘

駅伝部の顧問をやらせていただき二十六年目になります。その間、全国高校駅伝大会に出場はないものの、全国都道府県女子駅伝大会に三回、全国選抜陸上競技大会に一回、関東高校男子駅伝大会に四回（男子は平成二十一年から）関東高校女子駅伝大会に二十二回など生徒達の頑張りで歴史をつくってきました。

現在、部員は一十八名です。中学時代から長距離をやっていた者は少なく他種目から始めた人がほとんどというの以前とかわりませんが地道な努力と仲間との切磋琢磨で実績を残してきた部員と卒業生を誇りに思っています。

最近、箱根駅伝や実業団駅伝、高校駅伝などテレビ放映が多く視聴者を意識してかアクションや人気選手重視が気になるが選手達は純粋にチームのため、自分の力を発揮するために走っていることを理解してもらいたい。

今後も生徒達が高校での競技を通じて心と体の成長となるように「より強く、より早く」をモットーに努力していくことを理解してもらいたい。

私は平成二十九年十一月十一日に福島県で行われた東日本女子駅伝競走大会に出場しました。私が走った二区は高低差薬三メートルを駆け上がる上りの区間でした。序盤の流れがレースに大きく影響する駅伝。二区を走った白川先輩が常総学院高校の先輩ということもあり落ち着いて櫻を受けられることができました。当時は小雨と冷た

## 「茨城代表」を胸に

三年四組 小林 愛奈

## 憧れの舞台を走ったことで

三年一組 平方 佑記

私は七月に行われた茨城県陸上競技選手権大会の三〇〇メートル障害で九分四〇秒〇八で六位に入賞し、八月に行われた関東陸上競技選手権大会に出席しました。

中学から続けてきた陸上競技で初めての関東大会出場は、いつも以上に緊張して、思ったようにレースを走ることができず、結果は納得のいくものではありませんでした。しかし、最初から積極的に集団の先頭で走ったり良かった点も多くありました。何よりも、憧れていた関東大会を走った後は、結果に対しても悔しいといつ気持ちを強く持てたことが、出場から結果という自身の競技意識を高くもてたこと、それが成長だったと思います。



# 部活動活動報告

ません。高校三年間の青春の時間を最高の仲間と音楽をし、夢に向かって走り抜けることができてとても幸せでした。こうして活動することができたのも、応援し支えて下さった皆様のおかげです。今までありがとうございました。

## 吹奏楽部



### 全国大会を終えて

3年5組 小塚 宏太

私たち吹奏楽部は顧問である本岡先生のもと、一〇六名の部員で「才能より努力」をモットーに日々練習に励んできました。

新体制に替わった当初は、うまくいかず思い悩む日々でしたが、たくさんの演奏会や行事を通して音楽の楽しさや努力の大切さを学ぶことができました。

その結果夏のコンクールでは、東関東大会で金賞・代表を勝ち取り、昨年に引き続き十九回目の全国大会に出場することになりました。結果は思うようなものにはなりませんでしたが、今まで練習してきたすべてを出しきることができ、今まで一番楽しく、最高の本番になりました。

この一年全国金賞を目指し、先生と仲間と全力で練習をした日々は一生忘れ



## チアリーディング部

### USA Nationals

2年16組 太田 真彩

私たちチアリーディング部は、経験者が少なくほとんどが初心者です。そんな中二年生を中心に一から演技構成を考え、限られた時間で練習し、USA Nationalsという全国大会で三位入賞する事が出来ました。

予選の千葉大会は一位通過という悔しい結果になってしまい、その悔しさをバネに全国大会に向け演技の難易度も上げ、より一層気持ちを一つにして練習しました。目標はただ一つ「ノーミスの演技で優勝する」ということでした。

大会当日。今まで何度も変更し、何度も通してきた演技の最後の一本。今まで練習してきたすべてを出しきることで、結果は「ノーミスの演技で優勝する」ということになりました。目標は果たせませんでしたが、悔いのない演技が出来たと思います。

今年のUSA大会では、昨年果たせな

かつた目標を達成出来るよう更に頑張っていました。応援よろしくお願いします。



### 全国私学大会

2年8組 中山 弥海

僕たちソフトボール部は、一年生二名、一年生五名、マネージャー三名で活動しています。

四月に行われた全国私学大会に、関東代表として出場し、十一位という結果を残しました。各地の強豪校との試合はどれも熱く、そしてとても緊迫しました。目標はまだ一つ「ノーミスの演技で優勝する」ということでした。

大会当日。今まで何度も変更し、何度も通してきた演技の最後の一本。今まで練習してきたすべてを出しきることで、結果は「ノーミスの演技で優勝する」ということになりました。目標は果たせませんでしたが、悔いのない演技が出来たと思います。



### 関東大会を終えて

3年3組 水見 春佳

私たち、関東大会に出場し、普段味わえない緊張感やレベルの高いプレーなどを体で感じることができました。結果は、一回戦埼玉県代表に勝ち、二回戦東京都代表に負けてしまいました。

京都代表に負けてしまいました。二回戦日の一セット目、終盤まで負けていきましたが、全員の諦めない気持ちが二つになり、24-24まで追いつくことができました。しかし、最後の最後でセットを落してしまいました。私たちにとって忘れられない試合となり、この悔しさを練習にぶつけ、たくさんの努力を積み重

ばなりません。そのためには、個々の技術の向上はもちろんのこと、チーム力の底上げが大事になってくると思います。各々が日々の練習に目的を持って臨み、自身のあるものにすることで、これまで以上の結果を残していくたいと思います。

ねました。そのおかげで、技術面だけではなく、精神面も強くなれました。こうして成長できたのは、いつも熱く指導してくださる先生方や家族を中心理解し応援してくださる方々の支えがあつたからです。こうした感謝の気持ちを忘れず、これからも夢に向かって頑張つていきたいと思います。



## 水泳部

3年4組 菊地 優希

私たち水泳部は、今年で三十年連続となるインターハイ出場を果たすことができました。ちょうど三十年という節目の年でもあり、先輩方が築き上げてきた連續出場の記録を止めてはいけないとプレッシャーを抱えながらも選手一人一人が自分の力を最大限に發揮することができました。しかし、全国大会のレベルは非常

に高く、まだ力をつけなくてはいけないと思える大会でもあり、たくさんのこと学べる良い経験となりました。三年生にとっては高校生最後の大きな大会でした。これまで支えて下さった方々に感謝の気持ちを持ち、全力で臨んだレースの後には、全員に笑顔があふれた素晴らしい大会だったと思います。これからも、一人一人が更にレベルを上げ、全国に通用する力をつけ、より強いチームとなれるよう、日々精進していきます。



## 男子バドミントン部

3年3組 本田 晃太

私たち男子バドミントン部は、昨年十一月の茨城県高校新人大会団体決勝で敗れ、全国選抜大会出場を果たせませんでした。インターハイ県予選まで残り半年、足りなかつたところをよく考え、時には心が折れそうになりなが

らも厳しい練習に耐え県予選大会では団体優勝、ダブルス優勝、シングルス準優勝で三種目ともインターハイの切符をつかむことができました。一年ぶりの全国大会は緊張しましたが、一回戦前決（岩手）に三対〇で勝利し、二回戦は水島工業（岡山）が相手でした。相手は第五シードで一年生主体、お互いにベストオーダーで臨みましたが惜しくも一対三で敗れました。ベスト8を目指していくだけに悔しかつたであります。得意のダブルスでは四回戦、ベスト16で敗れてしましました。メダルには届きませんでしたが、仲間と一緒に三年間頑張ったので、後悔はありません。後輩たちは今の仲間を大切にし、もつと上を目指してほしいです。応援ありがとうございました。

初戦は昨年の覇者福島県との戦いで、私は、十月六日～九日に愛媛県で行われた「第七十二回国民体育大会」に出場しました。第一ダブルスが敗退し、後がなくなり私がシングルスで出場しました。緊張は少しありましたが、自分の力を発揮して接戦の末勝つことができました。「勝敗となり第二シングルスでは競りながらもファイナルで勝ち、チームも二対一で勝つことができました。とても嬉しかったのですが、昨年は優勝チームに勝ったことで「私達が優勝しなければ」と責任を感じました。二回戦・三回戦も二対〇で勝ち順調に決勝まで進むことができました。決勝では、ダブルスが二対〇と相手を圧倒し、勝ちました。その勢いで勝とうとシングルスに臨みましたが、気負いすぎて接戦を落してしまいました。みんなの期待を背負って第一シングルスがはじまり最初は力が拮抗していましたが、そこから抜け出し二対〇で勝利し、同時に茨城県勢初の優勝を手にすることができました。これも一重に学校、そして県体協、県バドミントン協会が協力して下さり、筑波大バドミントン部や多くのスタッフのお陰だと思います。最後に、二年後の茨城国体でも優勝できることを期待します。



## 女子バドミントン部

国体初優勝

3年2組 島倉 唯



世界大会に出場して  
3年16組 オヌ花

昨年の六月に、ベラルーシ共和国の  
ミンスク市で行われた世界クラシックサ  
ブジニアパワーリフティング選手権大  
会に、日本代表として参加しました。  
ミンスク空港はとても綺麗で、体育館  
は大きく立派でした。テロなどの国際  
情勢のこともあります、警備はどちらも厳  
重で日本には無い緊張感がありました。  
国内で競技するのとは異なり、様々  
な海外選手と出会い、体格や筋力の違  
い、試技に向かう集中力やパフォーマン  
スの凄さなど今まで経験したことのな  
い大会でした。私は試合当日、予想以  
上の緊張から普段の重量を擧げること  
が出来ず、記録を出すことができませ  
んでした。しかし、先輩達の励ましや  
憧れていたオーストラリアの選手から  
温かい言葉を頂き、無事に競技を終え  
ることができました。来年は力ナダで  
行われます。今大会の反省を生かし、  
是非来年も出場したいと思います。



## パワーリフティング部

# 強化部の活動状況

前項にあげた部活動以外の強化部における活動の様子です。

来年度の大会に向けて、自己を高め、日々鍛錬に励んでいます。引き続き応援をお願いします。



男子バレーボール部



野球部



ラグビー部



サッカー部



剣道部



(9) 常総学院同窓会会報

第17号 平成30年1月1日

# ■水泳部

茨城県高等学校弓道部 兼関東高等学校弓道大会春季大会	女子個人 行方市麻生杯弓道大会	5位	桑原七海
女子団体	高校の部 個人 高校の部 個人	個人6位 個人10位	桑原祐里
県南A地区夏季大会	高校の部 個人 高校の部 個人	8位 10位	桐田相澤
男子団体	県南A地区夏季大会	金の賞	桐田咲
女子団体	男子団体	【松信祐里】	木村悠日
男子個人 (8射6中)	男子個人 (8射6中)	【松信祐里】	水紀
女子個人 (8射4中)	女子個人 (8射4中)	【松信祐里】	七海悠日
行方市麻生杯秋季弓道大会	行方市麻生杯秋季弓道大会	【松信祐里】	桐田祐里
男子団体	男子団体	【小森宥毅】	桑原祐里
茨城県高等学校弓道新人大会県南予選会	茨城県高等学校弓道新人大会県南予選会	【佐藤萬理奈】	桐田萬理奈
男子団体	男子団体	【柳田萬理奈】	佐藤萬理奈
男子個人 (8射7中)	男子個人 (8射7中)	【佐藤萬理奈】	柳田萬理奈
男子個人 (8射6中)	男子個人 (8射6中)	【田中萬理奈】	佐藤萬理奈
※男女とも県大会出場決定	※男女とも県大会出場決定	【田中萬理奈】	柳田萬理奈
女子シングルス 土浦市民卓球大会	女子シングルス 土浦市民卓球大会	【古矢萬理奈】	佐藤萬理奈
県大会出場	県大会出場	【桐田萬理奈】	柳田萬理奈
高校の部 女子シングルス 高校の部 男子シングルス準優勝	高校の部 女子シングルス 高校の部 男子シングルス準優勝	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
茨城県卓球選手権大会 県南地区予選会	茨城県卓球選手権大会 県南地区予選会	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
女子ダブルス	女子ダブルス	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
ベスト16	ベスト16	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
ア弥	齊藤	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
花屋	彩織	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
翔	彩織	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
■卓球部	■卓球部	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
関東高等学校卓球大会 県南地区予選会	関東高等学校卓球大会 県南地区予選会	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
女子シングルス	女子シングルス	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
土浦市民卓球大会	土浦市民卓球大会	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
(県大会出場)	(県大会出場)	【佐藤萬理奈】	佐藤萬理奈
高校の部 女子シングルス 優勝	高校の部 男子シングルス準優勝	【齊藤万理奈】	齊藤万理奈
茨城県卓球選手権大会 県南地区予選会	茨城県卓球選手権大会 県南地区予選会	【秋山万理奈】	秋山万理奈



今年度は、高校三年生の担任をしていますので、大学の方と話をしたり、説明会にも参加したりして実感したことは、「大学は就職への通過点だけではなく、人生の中でじっくりものを考えることができる貴重な時間と場所を提供してくれるところだ」ということです。社会人になってから、そんな時間を取り戻すことはとても難しいです。受験指導をしていると、ついつい合否にばかり目が行ってしまいますが、大学に入学した後のことにも目を向けて指導しなくては、と強く感じています。

(理科 栗山 佳苗)

進路指導部に所属し3年目となり、毎月実施されている在校生向けの進路講演会の担当をしております。現在の社会状況や生徒の進路希望を考慮しながら企画しておりますが、より効果的なものにするためにも、卒業生の方々にご講演いただく機会が増えればと思っております。本校で学ぶ生徒にとって、さまざまな分野で活躍されている卒業生の姿を見ることは最高の進路指導になることでしょう。ぜひ、ご連絡いただければと思います。

(数学科 荒井 幸恵)

卒業生の皆さんこんにちは。現在3学年の生徒はAO入試、推薦入試のちょうど受験時期に当たっています。自分も一緒に面接の練習をしていますが、「常総学院の特徴は何ですか。」という質問をすると、生徒たちからは「文武両道の学校」「特講など勉強面での意欲の高さ」「皆勤率が高い学校」といった答えが返ってきます。時代が移り変わっても、常総学院の誇れるつながりというものを感じました。

(国語科 渡部 智弘)

進路指導を担当して延べ9年になります。毎年、AO推薦、一般入試と、全ての入試スタイルで、ドラマがあります。10人いれば10通りのドラマがあります。それに少しでも携わることが、とても嬉しく思います。現在は1年生の担任ですが、時々3年生から面接の練習や志望理由書の添削を頼まれます。「受験を通して成長する」ができるように、これからも精一杯サポートしていきたいと思います。  
(英語科 青柳 隆雄)

進路指導部の仕事をしていて、何事も人生と同じだと感じる日々です。常に困難とぶつかる、その困難を解決するために日々考えたり、努力したりしている。だから進路指導の仕事は面白い、人生は面白いと思います。卒業生の皆さんも、困難に直面し有意義な経験をされていることだと思います。それらの経験を現役生に還元してくれば大いに助かります。  
(理科 原田 文雄)

皆様、常総学院で受けた進路指導は今も生きていますか？私たち進路指導部を始めとして、さまざまな先生に自分の夢を語った人がいると思います。その道を進んでいる人も、それとは変わってしまった人も、ぜひ進路指導室に来て、どんなことをしているか教えて下さい。在校生の参考にもなるし、私たちにとってもためになることも多いので、ぜひお立ち寄りいただければ幸いです。

(地歴公民科 宮部 翔)



後列 左から 藤原先生 鈴木先生 伊藤課長 栗山先生 原田先生 宮部先生  
前列 左から 青柳先生 渡部先生 菅谷室長 高野先生 荒井先生

## 常総学院教育学会活動報告

### 平成29年度情報交換会を行いました

去る11月4日(土)につくば市内にて、本年度の常総学院教育学会の情報交換会を行いました。当日は、本校卒業生教員及び本校関係者、同窓会役員を含めまして約50名が参加し、日々の教科指導や学校業務、部活動についての情報交換を行いました。昨今はニュース等で教員の部活動負担やメンタルヘルスなどが報道され、教職をはじめ、教育に関する職業がとても大変な職業のように報じられています。しかし、それ以上に生徒の成長に関われることに対する喜びや充実感のある職業でもあるということを再確認することができました。

また、今回は卒業生の特別講演としまして、本校6期生で横浜薬科大学の鹿本泰生先生に講演をいただきました。高校卒業後、薬学部に進み、大学院卒業後は研究者として数々のプロジェクトに関わってきて、現職という事でした。現在は漢方の研究を続ける一方で、学生に教育をする立場ということで、生徒の好奇心を無駄にせず、最大限引き延ばすという自信に満ちた講演でした。

今後、常総学院教育学会は情報交換会だけでなく、生徒指導や進路指導などテーマを決めての勉強会、卒業生教職員の名簿作成など、少しづつ活動の幅を広げていきたいと考えています。また、情報交換会でも行いましたが、吹奏楽部の演奏会のご案内や、同窓会総会のご案内など、在校生と同窓会の両方をサポートしていきたいと考えています。現在教育に関するお仕事をされている卒業生で、未加入の方は是非ご加入下さい。年会費等は一切ございません。joso\_edu@joso.ac.jpまでご一報下さい。

常総学院教育学会 会長 青柳 隆雄 (11期生)

# 進路指導室より活動報告

## 大学入試結果報告

### 東京大学(文II)・筑波大学(医) 現役合格！

今春の四年制大学の進学状況は、国公立大学では東京大学(文II)、筑波大学(医学群医学類)を筆頭に、国公立大学計105名と、本年度も100名を越す合格者を出すことができました。また、私立大学では、GTMARCH計155名を始めとして私立大学、計842大学へ合格することができました。現役での大学進学率は88.3%と例年とほとんど変わらぬ進学率ですが、進路指導室では、万が一、浪人の場合も必ず滑り止めを受験する指導を行なっていますので、ほとんど全員がいずれかの大学への合格は手にしている状況です。

卒業生の皆さんとの3年間、6年間の努力の結果、昨年度も極めて良好な成果を出すことができました。ご卒業の皆様方の益々のご活躍をお祈り致します。

## OB・OGの皆様方へ… 進路指導部担当者より一言メッセージ

早いもので進路指導部を担当し10年以上経ちます。毎日進路指導室には、いろいろな進路先の人々が来校します。特に楽しみなのは、卒業された方々が来室してくれ、いろいろと近況を教えてくれることです。特に進学先の大学の情報は、大学の入試担当者とは違った観点でとても参考になり、在校生の進路相談に大変役立っています。進路指導室は学校のある日であれば、進路担当者の誰かは常駐しています。ぜひ顔を見せに気楽に来室して下さい。お待ちしております。

(進路指導室長 英語科 菅谷 博之)

課長として、菅谷室長の下、進路指導に関する事務全般に関わっています。何より嬉しいのは、進路の相談を受けた生徒が「先生、大学に合格しました！」と報告してくれた時です。高校3年生は職業の経験がありませんが、入試の面接では志望する職業の具体的な内容が問われます。卒業生の皆さんの職場での経験が役に立ちます。進路指導室まで、情報を寄せ下さい。メールアドレスは(shinro-h@joso.ac.jp)です。よろしくお願ひします。

(進路指導室 課長 地歴公民科 伊藤 順広)

## 合格体験談集『桜咲く常総in2017』を発行

平成29年7月1日、今年も合格体験相談集を発行致しました。今号は、総体験談原稿約600点より生徒及び保護者の皆さんに参考になる原稿64点を進路指導部の教員が厳選し、一冊にまとめました。また、表紙の作成に当たり、本校中学校芸術科主任の榎本先生にご尽力頂き、パステル調の新たなイメージの体験談集ができました。配布先は、本校中学、高校の在校生はもとより、来校された大学の広報の方々にも希望される方にお渡しし、多数の賞賛のお言葉を頂いております。

## 進路講演会の実施（毎月実施）

今年度も、原則毎月末に進路講演会を実施しております。在校生は希望制で、自由に参加できます。参加者は毎回100名を超える大盛況の状況です。

卒業生の方々で、各界でのご活躍の方々の講演も随時募集しております。皆様からのご連絡お待ちしております。

## OB・OGの皆様方へ… 進路指導部担当者より一言メッセージ

進路指導部になり今年で7年目、主に合格体験談集『桜咲く常総』のチーフとして、毎年7月発行に向けて半年がかりで生徒・保護者約600名近くの方から寄せられた全原稿に目を通し、精選した物を校正・編集する作業に、授業の傍ら取り組んでおります。私の常総学院でのライフワークになりそうです。  
(国語科 鈴木 修明)

卒業生の皆さん、こんにちは。進路指導課の高野です。教員生活は長いのですが、この分掌は担当1年目で、さまざまなことを経験させていただきました。その中で新たにOB・OGも社会の中でいろいろな経験をして、発見・感動・成長されていることだと思います。それら全てが皆様の大きな財産になります。卒業生諸君が現状からステップアップし、豊かな人生を送ることを祈っています。

(地歴公民科 高野 保徳)

私が本校に赴任したのは平成5年の4月ですので、今年で24年目となります。その間、たくさんの常総生を世に送り出すお手伝いをさせてもらいました。今年もまた、33期生の諸君を高校3年生の担任として、また進路指導部として送り出す機会を得ました。大変嬉しく思っています。今後共、社会にあってご活躍下さい。また、母校のこととも思い出して、サポートしていただければ幸いです。  
(理科 藤原 克美)

## 常総学院高等学校 四年制大学別合格者数

平成29年5月1日現在

## ■国公立大学

大学名	5 ヶ年	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
小樽商科	1	0	1	0	0	0
帯広畜産	1	0	0	1	0	0
北見工業	14	0	2	2	6	4
北海道	2	0	1	0	1	0
北海道教育	3	1	1	0	1	0
室蘭工業	1	0	0	0	0	1
弘前	1	1	0	0	0	0
東北	5	0	0	0	4	1
宮城教育	1	0	0	1	0	0
秋田	8	0	0	1	4	3
山形	12	4	6	1	1	0
福島	2	0	0	0	1	1
茨城	151	26	22	40	32	31
筑波	64	10	10	18	13	13
宇都宮	6	3	1	1	0	1
群馬	6	1	2	1	0	2
埼玉	17	8	3	0	3	3
千葉	11	2	4	3	2	0
お茶の水女子	4	0	1	3	0	0
電気通信	2	1	1	0	0	0
東京	3	1	0	1	0	1
東京医科歯科	3	0	1	0	1	1
東京外国语	4	1	0	0	1	2
東京学芸	5	1	0	1	2	1
東京芸術	2	0	0	0	2	0
東京工業	2	1	1	0	0	0
東京農工	1	1	0	0	0	0
一橋	1	0	0	1	0	0
横浜国立	4	1	0	2	1	0
新潟	3	0	0	2	1	0
富山	2	0	0	1	0	1
山梨	3	2	1	0	0	0
信州	3	1	1	0	1	0
岐阜	1	0	0	1	0	0
静岡	3	2	1	0	0	0
名古屋	2	2	0	0	0	0
滋賀	1	0	0	0	1	0
京都	1	1	0	0	0	0
大阪	1	0	0	0	1	0
神戸	1	0	0	0	0	1
鳥取	1	0	1	0	0	0
広島	2	0	0	1	0	1
山口	1	0	1	0	0	0
高知	2	1	0	0	1	0
長崎	1	0	1	0	0	0
九州	1	0	0	0	0	1
宮崎	2	1	0	0	1	0
鹿児島	1	0	1	0	0	0
鹿屋体育	1	0	0	0	1	0
琉球	4	0	0	1	2	1
釧路公立	11	1	2	2	2	4
公立はこだて未来	3	0	0	0	1	2
秋田県立	1	0	0	0	0	1
国際教養	1	0	0	0	0	1
会津	3	0	2	1	0	0
福島県立医科	3	0	1	0	0	2
茨城県立医療	13	1	3	3	3	3
群馬県立女子	4	0	2	0	0	2
高崎経済	7	2	2	0	2	1
前橋工科	2	1	0	0	1	0
首都大学東京	4	0	0	2	1	1
横浜市立	8	2	2	1	3	0
都留文科	2	0	0	0	2	0
山梨県立	1	1	0	0	0	0
岐阜薬科	1	0	0	0	0	1
尾道私立	1	0	0	0	0	1
広島市立	1	0	0	1	0	0
長崎県立	1	0	0	0	0	1
名桜	2	0	0	0	1	1

## ■文部省管轄外学校

大学名	5 ヶ年	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
防衛医科大学校	6	0	1	2	3	0
気象大学校	1	0	0	0	1	0
職業能力開発大学校	13	1	8	0	3	1
防衛大学校	72	12	12	19	17	12
国立看護大学校	2	0	0	0	1	1
【医学部医学科】 【国公立・大学校】						
弘前	1	1	0	0	0	0
筑波	2	0	0	1	0	1
群馬	1	0	0	1	0	0
東京医科歯科	1	0	0	0	1	0
山梨	1	1	0	0	0	0
広島	1	0	0	1	0	0
島根	1	0	1	0	0	0
高知	1	1	0	0	0	0
長崎	1	0	1	0	0	0
福島県立医科	2	0	1	0	0	1
防衛医科大学校	2	0	0	1	1	0
【私立】						
岩手医科大学	3	1	0	1	1	0
獨協医科大学	5	1	1	0	2	1
埼玉医科大学	5	0	3	0	1	1
杏林	2	0	0	1	1	0
北里	2	1	0	1	0	0
順天堂	3	0	0	2	1	0
帝京	1	0	0	0	1	0
東海	1	0	0	0	1	0
東京医科大学	2	0	1	0	1	0
日本	2	1	0	0	1	0
聖マリアンナ医科大学	2	0	1	0	1	0
金沢医科	2	0	1	0	1	0
愛知医科	1	0	0	1	0	0
藤田保健衛生	2	2	0	0	0	0
大阪医科	1	0	1	0	0	0
近畿	2	1	1	0	0	0
川崎医科	1	0	1	0	0	0
【私立大学】						
学習院	52	7	11	5	11	18
東京理科	111	20	27	20	27	17
明治	109	25	27	19	20	18
青山学院	41	5	16	5	10	5
立教	68	19	12	14	8	15
中央	150	19	22	25	31	53
法政	172	40	43	29	31	29
早稲田	64	23	13	13	7	8
慶應義塾	30	13	4	5	6	2
上智	20	5	4	6	4	1
国際基督教	1	0	0	0	1	0
ア						
愛知医科	1	0	0	1	0	0
麻布	9	2	2	1	1	3
蚕細垂	18	6	3	1	5	3
跡見学園女子	24	5	5	7	4	3
岩手医科大学	5	1	0	3	1	0
桜美林	15	0	4	4	5	2
大阪医科	1	0	1	0	0	0
大妻女子	35	3	6	11	9	6
力						
学習院女子	5	2	2	0	0	1
神奈川	18	3	4	6	3	2
金沢医科	2	0	1	0	1	0
金沢工業	3	0	0	1	1	1
川崎医科	1	0	1	0	0	0
関西学院	2	1	0	1	0	0
神田外語	7	2	2	1	2	0
北里	24	4	6	7	4	3
共立女子	24	3	8	6	6	1
杏林	26	5	6	4	6	5
近畿	7	2	4	0	1	0
工学院	24	5	12	3	3	1
國學院	26	4	11	4	2	5
国際医療福祉	30	5	4	4	5	12
國士館	82	16	14	19	16	17
駒澤	84	14	16	30	12	12
駒沢女子	5	1	0	2	1	1

## サ

大学名	5 ヶ年	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
埼玉医科大学	9	0	5	1	2	1
産業能率	16	2	3	4	2	5
自治医科	1	0	0	1	0	0
実践女子	21	3	7	4	5	2
芝浦工業	55	4	19	11	9	12
順天堂	21	1	3	10	4	3
城西	27	10	2	4	9	2
昭和	11	3	1	2	2	3
昭和女子	34	7	3	7	8	9
昭和薬科	1	0	0	0	0	1
女子栄養	15	6	3	2	3	1
女子美術	6	3	0	2	1	0
白百合女子	4	2	1	0	0	1
駿河台	4	3	0	0	1	0
成蹊	23	4	10	3	4	2
成城	22	6	6	4	4	2
聖心女子	11	3	3	2	2	1
清泉女子	17	3	3	4	4	3
聖マリアンナ医科大学	2	0	1	0	1	0
聖路加国際	2	1	0	0	0	1
専修	58	13	7	8	15	15
創価	9	0	6	1	1	1
タ						
大正	34	8	3	6	6	11
大東文化	48	9	10	10	9	10
高千穂	9	2	0	4	1	2
拓殖	66	11	9	10	18	18
玉川	46	3	11	12	8	12
多摩美術	5	2	0	2	0	1
千葉工業	183	32	47	34	43	27
津田塾	11	0	3	3	3	2
東海	74	22	14	13	15	10
東京医科	9	3	2	3	1	0
東京医療保健	13	2	1	5	0	5
東京家政	26	7	4	2	8	5
東京家政学院	3	0	0	1	1	1
東京経済	29	4	8	5	9	3
東京工科	33	6	7	5	3	12
東京歯科	3	1	1	0	0	1
東京慈恵会医科大学	3	1	0	1	1	0
東京女子	25	5	4	7	3	6
東京女子医科大学	7	2	1	1	1	2
東京造形	3	2	0	0	1	0
東京電機	67	17	12	15	12	11
東京都市	31	4	11	6	8	2
東京農業	57	11	12	9	16	9
東京薬科	14	2	2	1	6	3
同志社	7	2	1	0	1	3
東邦	43	10	4	7	11	11
東北福祉	5	1	0	3	1	0
東洋	102	19	21	19	18	25
獨協	43	9	12	6	4	12
獨協医科	9	2	1	0	3	3
ナ						
二松学舎	11	2	0	3	3	3
日本	207	40	48	50	37	32
日本医療科学	6	2	0	1	3	0
日本歯科	4	0	3			



中高生がつくば市内の研究機関を訪れ、その研究内容を発表する「サイエンスキャステイング」が八月一・三日の両日、同市竹園のつくば国際会議場を拠点に開催されました。今回も県内外の中高生が参加し、本校からも十八名の生徒が参加しました。そこで「スマホを使った昆虫調査」を発表したグループがプレゼンテーション最優秀賞に輝きました。このグループには、本校三年大野健登君と石渡克哉君が所属しており、メンバーの埼玉県の高校生と喜びを分かち合いました。常総学院中が行っているプレゼンテーション能力の育成の成果が、この受賞の一助になりました。

中高生の時から出て、今までで二回目でした。今までは、参考する友達があまりいませんでしたが、今回は、科学部の皆と一緒に出ることが出来てよかったです。

僕は、「スマホを使った昆虫調査」という企画に参加しました。第一希望から第三希望まで全てがはずれて、この企画に参加しました。しかし、やってみると、とても楽しかったです。トンボを捕まえて、そのトンボが何の種類なのか判別し、その写真を撮って、トンボの得点で競い合うというゲームを三人でやりました。僕は二位で、一位とはとても差がついていました。僕は、トンボを捕まえたり、種類を見分けたりする経験がなかったので、この経験はとても貴重なものになりました。次に、サイエンスキャステイングに行く機会があれば、また最優秀賞をとれるように頑張りたいです。

# 中学生特集

## スマホを使った昆虫調査

3年1組 石渡 勘哉

## 初めてのサイエンスキャステイング

3年1組 大野 健登

僕は今回、科学部の一員としてサイエンスキャステイングに参加しました。僕が選んだ研究テーマは「スマホを使った昆虫調査」というものです。僕達のグループは農研機構を訪問しました。そこでまずスマホで昆虫調査を行うためのプログラム「トンボウォッチ」を教えていただき、次に実際に外へ出て昆虫調査を行いました。スマホを使うことによってゲーム感覚で昆虫調査を行うことができました。その後は、それぞれのグループでパワーポイントを作成して、発表しました。そして、その発表で僕達のグループが最優秀賞に選ばれ、グループのメンバーと共にとても喜びました。

今回、僕は初めて参加したので不安でしたが、親切な先生やメンバーによつてとても楽しく、科学について学ぶことができました。また機会があれば行きたいと思います。

# 中学生の便り

## 体育祭で学んだこと

1年2組 篠崎 百花

皆で力を合わせて頑張った体育祭。結果は学年で一位で総合で四位でした。賞状をもらえたかったので少し悔しかつたです。

私は、クラス代表として旗手をやりました。風が吹くとすごく重く、何度か倒れそうになつてとても大変でした。でも、それで鍛えられたのか、学級旗リレーでは、旗の重さをあまり感じずに走ることができました。

二人三脚では四位になつて慌てたけど、大玉転がしで一位になれてよかったです。

そして、私が一番強く後悔したこと

は、クラス対抗リレーでバトンミスをしたことです。あの時、私が上手く受け取つていれば、総合で三位以内に入れたんじゃないいか。皆さん迷惑をかけてしまつた。リレーの後は、そんな事をずっと考えていました。そんな私の様子を見た友達は「大丈夫だよ。」「そんなに落ち込むなよ。」などと優しい言葉をたくさんかけてくれました。この体育祭を通して、皆との絆がより深まつたと思います。

## 体育祭を振り返って

2年1組 鈴木 双葉

今年の体育祭は、私たちにとって初めてのクラス対抗戦でした。クラスの入場行進のパフォーマンスがなかなか決まりませんでした。しかし、みんなで話し合つていこうとに「クラスのために」と考える



きました。その結果、総合三位を獲得することができました。みんなの協力のおかげで手にすることができました。これからも「互いの協力」を大切にし、さらに上を目指せる様、努力したいと思います。また、クラスのみんなからの意見をより一層大事にしていきたいです。

中学三年生の僕たちにとって最後となる体育祭で総合優勝を勝ち取つたことは、忘れられない最高の思い出の一つになりました。

体育祭の日を迎えることができました。クラスでは「もう一人の私(仮装)」の衣装決めでなかなか意見がまとまらず、何度も何度も話し合いをしていました。でも、話し合いを繰り返すうちにどんどんとクラスが一つにまとまりだして、体育祭の日を迎えることができました。体育祭の競技でも、みんなが優勝を目指して一人一人がベストの力を発揮していましたので、でき過ぎなぐらいの成績を残すことができました。本当にみんなで勝ち取つた優勝だったと思います。この経験を通して僕はクラスのみんなで良い結果を出すには「ミニュニケーションが重要であると感じました。お互いを信頼し合える関係が最高の結果をつくったのだと思いました。

## 三年二組、総合優勝!

3年3組 宮崎 亘悦

9月、まだ試験が終わって一週間も経たないころ、私たち一年生はブリティッシュ・ヒルズに行つてきました。バスでハリー・ポッターを観ながら着いたそこは、霧でより幻想的になつた英國でした。そこで過ごした「一日」の中で、私達はサバイバル・イングリッシュやBHA、クッキングまたはキャンピング作り、タック・ショップでの買い物など、実際に沢山の体験をしました。

私が今回の国内留学で一番楽しかったのは一日目の夕食です。いないはずなのに隣にいる先生や、よく知らない友達と一緒に英語で楽しくおしゃべりができました。

## 一日間の国内留学

1年1組 石部 綾乃



私は英語が得意でないので、話すことに内心びくびくしていましたが、やつてみればなんのその。この研修では、英語に対する信用と、使ってみようと思ひます。



今回の経験で、新しい会話表現や単語をたくさん知ることができました。また、間違えることは恥ずかしいことではないと思つことができました。

今回、ブリティッシュ・ヒルズで英語を使って会話する楽しさを知ることができました。その経験を生かし、これから授業や生活で積極的に英語を使つていきたいです。



龍安寺の枯山水を見に行つたとき、ガイドさんに庭ある十五個の岩の意味を教えて頂きました。この十五個の岩は一度にすべて見えないということで、人間はいつも未完成で完璧ではないということが表されているということを学びました。

私は今まで仏教が伝わり、日本人がどのような影響を受けたかについてあまり興味がありませんでした。しかし今回の研修旅行で仏教の見方が変わり、より一層知りたいと思いました。

## ブリティッシュ・ヒルズに行つて学んだこと

1年2組 小松 真優

私はブリティッシュ・ヒルズに行って英語を使って会話を楽しむことを知りました。

今まで、授業の中で英語を学んではいましたが、先生以外の人や友達と英語で話すことはありませんでした。だから、自分が知つてゐる単語を使って何かを伝えられたときの喜びは大きかったです。

また、間違つた言葉を使ってしまつたり、どう伝えればいいか分からず、ジェスチャーで伝えた時も、理解してもらえて嬉しかつたです。

今回の経験で、新しい会話表現や単語をたくさん知ることができました。また、間違えることは恥ずかしいことではないと思つことができました。

今回、ブリティッシュ・ヒルズで英語を使って会話する楽しさを知ることができました。その経験を生かし、これから授業や生活で積極的に英語を使つていきたいです。

## 国内研修旅行で学んだこと

2年1組 大堀 愛佳

私は国内研修を通して日本人としての「心構え」や昔の人の考え方のすばらしさ、仏や仏教の影響力など教科書では学べない多くのことを感じ取ることができます。

能では、誰もがはじめに教わるのは「あいさつ」であり、あいさつは相手に敬意を表すものだということを改めて実感しました。

私は国内研修を通して日本人としての「心構え」や昔の人の考え方のすばらしさ、仏や仏教の影響力など教科書では学べない多くのことを感じ取ることができます。

能では、誰もがはじめに教わるのは「あいさつ」であり、あいさつは相手に敬意を表すものだということを改めて実感しました。

私は今まで仏教が伝わり、日本人がどのように影響を受けたかについてあまり興味がありませんでした。しかし今回の研修旅行で仏教の見方が変わり、より一層知りたいと思いました。

私が今回国内研修で感じたことは生活習慣です。現地の人は関西弁を使うので、最初は聞き取りにくかつたです。旅館では、ルームメイトとご飯を食べ、協力して布団を畳み、より一層みんなとの仲が深まった気がしました。

寺社巡りは大阪城が一番心に残りました。なぜなら、人生で初めて城を訪れたからです。想像以上に立派で、東西南北見渡せる景色は格別でした。豊臣秀吉と同じ景色を見ていたと思うと歴史の教科書の内容が身近に感じられ感動しました。

私たち最終日に、河村能舞台を鑑賞しました。能で使うお面は一度も替えたことがないと聞いて驚きました。能で使う楽器は変わった音色で、最後にそれらを感じました。

### 豊臣秀吉が見た景色

2年3組 萩野 秀瑛



使った能を観ました。六百年位前から今まで受け継がれてる能は迫力満点でした。どれも滅多に経験することのないものだったので、今後忘ることのない大切なものになりました。

## 課題が残つた NZ研修

3年2組 生駒 千景

十月十五日から行ったNZ研修を一言で表すと「後悔」です。それは、NZ研修で積極的に英語を話せなかつたからです。私は英語に苦手意識があります。地元の人達は優しくしてくれたのに、ファームステイ先や訪問先の学校でも積極的に会話することが出来ませんでした。祐源先生が言つていた「恥ずかしいことを恥ずかしいと思いなさい」という言葉を思い出し、勇気を出して英語を話せば良かつたと後悔しました。

そんな後悔だらけのNZ研修でしたが、来てよかったです。場所がありまます。それは、ワイトモケーブの鍾乳洞の中にある土ボタル見学です。NZの星空を見ているような感じがして、とても感動しました。

次に海外へ行く機会があつたら、よりその地を楽しめるように、積極的に英語を話したいと思います。

## すべてが楽しかつた 海外研修

3年3組 青木 海斗

中学校最大の行事とも言える「ユージーランド海外研修旅行に僕は行つきました。初日の初めから十時間ほど飛行機に揺られ現地に到着し、まず空気がきれいで良い所そだなと思いました。そしてバスに乗り込み、公園などを回り、十七時頃には一日ほどお世話になるホストファミリーと対面しました。家族全員驚くほどとても親切でした。丸一日一緒に過ごした日は、お昼頃から大きなビーチに連れて行つてくれました。夕食も日本人の口に合つ味でとてもおいしかつたです。次の日は生徒がまた集まり「手に分かれ学校訪問に行きました。僕はセントピーターズという学校に行き、初めに行つた顔合わせで僕が団長として応援団のように行つたのですが、なぜかポールズと言つてしまい大失敗でした。今では苦い思い出も一生残る良いものとなりました。

■平成28年度 常総学院高等学校同窓会決算書  
(平成28年4月1日～平成29年3月31日まで)

▼収入の部				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1.会 費	8,100,000	7,532,000	△568,000	
卒業生会費	780,000	1,017,000	237,000	終身会費30名、会員44名
在校生会費	7,320,000	6,515,000	△805,000	終身会費59名、会員504名
2.雑 収 入	12,000	55,569	43,569	受取利息他
3.前年度繰越金	62,057,458	62,057,458	0	
収入の部計	70,169,458	69,645,027	△524,431	

▼支出の部				
科 目	予算額	決算額	増 減	備 考
1.消耗品費	100,000	48,566	△51,434	事務用品等
2.通信運搬費	800,000	809,076	9,076	会報送料
3.印刷製本費	1,700,000	1,723,681	23,681	会報印刷代等
4.会議費	200,000	129,056	△70,944	役員会時飲み物代等
5.旅費交通費	300,000	246,840	△53,160	役員会時旅費
6.部活動補助費	3,500,000	3,340,000	△160,000	男女バドミントン部・硬式野球部等
7.記念品費	750,000	830,450	80,400	コサージュ、生徒手帳
8.広報費	110,000	54,000	△56,000	新聞広告料
9.行事費	400,000	597,443	197,443	常友祭テント代等
10.雑費	200,000	107,790	△92,210	振込手数料等
11.次年度繰越金	62,109,458	61,758,125	△351,333	
支出の部計	70,169,458	69,645,027	△524,431	

上記の決算書について諸帳簿関係証書を監査した結果、適正かつ正確であることを証明致します。

平成29年5月13日 会計監査 久保田 美幸 前川 信史

平成28年度決算について

- 収入の部  
当初の予算額より卒業生終身会費の納入が増えた為、会費収入が増となりました。
- 支出の部  
女子バレー部・男子バドミントン部・女子バドミントン部・ソフトボール部・女子剣道部・駅伝部・水泳部・パワーリフティング部(世界大会出場)・写真部・チアーリング部・硬式野球部及び第98回全国高等学校野球選手権大会出場補助・吹奏楽部定期演奏会補助・常総学院教育学会補助・卒業生・新入生への記念品等の事業活動を行いました。その他、支出は極力経費の節減に努めました。

■平成29年度 常総学院高等学校同窓会予算書(案)  
(平成29年4月1日～平成30年3月31日まで)

▼収入の部				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1.会 費	8,590,000	8,100,000	490,000	
卒業生会費	780,000	780,000	0	終身会費20名、会員60名
在校生会費	7,810,000	7,320,000	490,000	終身会費50名、会員656名
2.雑 収 入	12,000	12,000	0	受取利息
3.前年度繰越金	61,758,125	62,057,458	△299,333	
収入の部計	70,360,125	70,169,458	190,667	

▼支出の部				
科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1.消耗品費	100,000	100,000	0	事務用品等
2.通信運搬費	800,000	800,000	0	会報送料
3.印刷製本費	1,700,000	1,700,000	0	会報印刷代等
4.会議費	200,000	200,000	0	役員会時飲み物代等
5.旅費交通費	300,000	300,000	0	役員会時旅費
6.部活動補助費	3,500,000	3,500,000	0	硬式野球部 男女バドミントン部等
7.記念品費	750,000	750,000	0	コサージュ、生徒手帳
8.広報費	110,000	110,000	0	新聞広告料
9.行事費	400,000	400,000	0	常友祭テント代等
10.雑費	200,000	200,000	0	振込手数料等
11.次年度繰越金	62,300,125	62,109,458	190,667	
支出の部計	70,360,125	70,169,458	190,667	

平成29年度予算について

平成29年度予算は、平成29年度の事業計画と平成28年度の収支実績を勘案して編成致しました。

- 収入の部  
卒業生の入会金、会員656名、会員年会費80名を収納予定として計上致しました。
- 支出の部  
本年度の事業計画は、①第17号同窓会会報の発行②常総学院教育学会への補助③会員への同窓会会報郵送④各部活動への補助④卒業生・新入学生への記念品が主なものである。これに基づき予算を編成致しました。

平成29年度常総学院高等学校同窓会 会務分担表(案)

担当	本 部 役 員	学 校	主 な 業 務	担当	本 部 役 員	学 校	主 な 業 務	
総務	副会長 泉琢磨 副会長 坂田英一	岡田慎一郎 中原僚汰 山田拓也 中根弘貴	飯塚康弘 仲野谷宗治 櫻井亮史	会議の招集・運営・進行 同窓会の統括的業務	事務局	副会長 伊沢勝徳 副会長 入江道雄	酒井野間口 平井昭修 神野智也 上原拓也 小倉明子 田村佳子 高橋優一 永妹川泰仁 藤島島美代	覚子司子 司子也 拓也子 明子佳人 佳人正仁 泰明百代
経理	副会長 伊藤哲也	塚本勝則 櫻井勝 猪瀬高美 平澤雅義	磯部和弘 大海外聖賀	予算編成と執行・決算 諸会費等の徴収	監事	久保田美幸	前川信史	本会計の監査
会報	副会長 山口大式	塚崎雅之 中川弘一郎 渡辺裕次 伊藤俊太郎 鈴木由美子 内田豊 高野金子 堀切風 堀小林 横瀬春 荒福市 藤野	田中光恵 牧野繪美 谷川義宣 祐源愛 源良徳 松林康徳 横瀬まり 神矢千紀 相澤理沙 西牧奈緒 浮田成美 荒木彩花 清潤 國井信二朗	会報の編集・発行	同窓会事務局より	常総学院高等学校同窓会総会開催のお知らせ		

同窓会事務局より

常総学院高等学校同窓会総会開催のお知らせ  
日時 平成30年5月27日(日)午前10時から

場所 常総学院高等学校 視聴覚教室  
会員皆様の多数の御出席をお待ちしております。

悪質な電話勧誘にご注意

同窓会事務局あるいは常総学院事務局と名乗って、電話などで強引に勧誘する事件が発生しています。不審な勧誘、確認調査等を受けた場合には、即答せず同窓会事務局までお問い合わせ下さい。同窓会事務局が調査を行う場合は、同窓会長名、学校長名の記載がある郵便物又はメール便で行います。

会報への寄稿をお願い致します。

会員皆様より会報への寄稿をお願い致します。特に、同窓会、クラス会開催等、卒業生の活躍に関する情報をお寄せ下さい。詳細は同窓会事務局までお問い合わせ下さい。



〒300-0849 茨城県土浦市中村西根 1019 電話 TEL:029-842-8771(代) FAX:029-842-8788 URL:https://www.joso.ac.jp/junior

# 常総学院高等学校

## 平成30年度 入学試験

特進選抜αコース  
特進β(β6・β7)コース

### 推薦(単願)

1月9日(火) 英数国(記述)・面接

### 一般(単願・併願)

1月16日(火) 英数国理社(記述)

併願型推薦(千葉県受験者)

1月16日(火) 英数国理社(記述)

◇お問い合わせ◇ TEL:029-842-8771(代)  
(入試広報部) 〒300-0849 茨城県土浦市中村西根 1010番地  
URL https://www.joso.ac.jp/



# 常友祭

～メインテーマ『群青』～

### ■高校サブテーマ■



～The sky is the limit～

大盛況



### ■中学サブテーマ■



～海より深い友情、空より高い目標～

毎年11月に行われる「常友祭」。同窓会でも串カツ・お汁粉の屋台を毎年出店。高校生徒会で販売している「常総オリジナルグッズ」の販売もお手伝い。今年も嬉しいことに大好評でした！活気に満ち溢れた在校生に、毎年元気をもらっています。自分たちの甘酸っぱいあの頃の青春を思い出すまたとない機会です。来年度もぜひお越しください。

卒業すると母校の様子を知る機会は少なくなるもので、街中で制服を見かけたり、新聞記事に名前を見つかりしたときに、懐かしさ覚えたりしないでしょうか。

常総学院高等学校は今年度創立三十五年目、常総学院中学校は創立二十二年目を迎えました。本校では新大学入試に応える英語教育システムをすでに確立しておりますが、今年度はネイティブスピーカーによる英語教育の環境をさらに充実させ、「生きた英語教育」に力を入れております。楽しく積極的に英語を学ぶ生徒たちの姿が見られ、これから母校の成長がますます楽しみになっています。

皆様のお力添えにより、今年も無事同窓会会報第十七号を発行することができました。在校生の活躍はもちろんのこと、社会で活躍する卒業生の皆様の方をお借りして数多く紹介することで、同窓会会報が会員皆様の日々の活力になればと考えております。『卒業生からの便り』等にご協力をいただける方を、編集部ではいつも大募集しております。より内容の充実した会報を目指していただきたいと考えておりますので、お力を賜れる方は学校へご連絡ください。今後とも、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。卒業生の皆様方のますますのご活躍をお祈りいたしております。



## 編集後記